

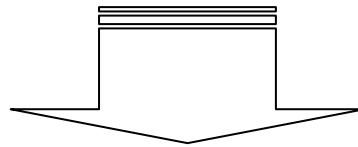
新潟県中越地震でのラジオ関係の対応

新潟県中越地震でのラジオ関係の対応

災害情報を被災者に確実に提供するため、NHK、新潟放送が中継局を臨時に設置したほか、ラジオを無償配布する等の取組を放送事業者において積極的に展開。

停電等によりテレビの視聴が困難な中、ラジオが貴重な情報伝達ツールとして有効に機能。

持ち運びが便利
地域に密着した情報発信が可能



ラジオの重要性が改めて認知。簡便な情報入手手段としての役割は、今後も重要。

新潟県中越地震でのラジオ関係の対応

【放送事業者】

災害情報を被災者に確実に提供するため、NHK、新潟放送が中継局を臨時に設置

現地災害対策本部等を通じて携帯ラジオを無償配布
(TBSラジオ100台、文化放送250台、ニッポン放送150台)

J-WAVEが、手巻き充電式FM携帯ラジオ357台を日本コミュニティ放送協会を通じて無償配布

東京FM等、全国FM放送協議会加盟社38社において、災害情報を文字により視覚的に表示し、提供するための電子掲示板（FM文字多重放送サービス「パパラビジョン」）を避難所27か所に無償設置

【総務省】

地震災害関係の臨時災害用FM放送局等に対して、臨機の措置により免許等を付与。